

モンテ (Monte)

について



写真: Turismo da Madeira

モンテ (Monte)

「荷車の村」としても知られるモンテ (Monte) は、フンシャル (Funchal) で最も特徴のある近郊の1つです。また、観光客にとって「絶対に行くべき」場所でもあります。その理由は、その歴史だけでなく、フンシャルの入り江を臨む素晴らしい景観が人々を待っているからです。

庭園や深い森林地帯の中にあり、小さなモンテ地区の中心であるこの場所は、静かに散策したり、マデイラの創始者に敬意を表して建設されたノッサ・セニョーラ・ド・モンテ教会 (Igreja de Nossa Senhora do Monte) に立ち寄りたりするのにぴったりです。教会内には、オーストリア皇帝、チャールズ1世の墓や、この皇帝の最後の家となった、ジャルディン・ド・インペラドール (Jardim do Imperador) があります。この島の守護聖人であるモンテの聖母 (Nossa Senhora do Monte) に敬意を表して行われるフェスティバルは、毎年8月15日にここで行われます。

モンテ宮殿熱帯庭園 (Jardim Tropical Monte Palace) にも是非お出かけください。ここにはほぼすべての大陸のエキゾチックな植物のコレクションがあり、この複合施設の一部である美術館に集められた作品のほか、地面のあちこちに描かれた数多くの芸術作品をお楽しみください。

レイテ・モンテイロ公園 (Parque Leite Moneiro) としても知られるモンテ市立公園 (Parque Municipal do Monte) の庭園を散策すると、たくさんの原産のエキゾチックな種や、樹齢数百年の樹木が見つかるでしょう。

モンテまで行ってフンシャルに戻るには、素晴らしい選択肢が2つあります。ケーブルカーで登って、バスケットカーで再び下る方法です。

モンテ・ケーブルカー (Teleférico do Monte) は、フンシャルの歴史的な中心地とモンテを結んでいます。この往復には15分ほど掛かります。移動中はこの市のパノラマをお楽しみください。

伝統的なトボガン、すなわちバスケットカーはモンテが発祥です。トボガンはラタン製で木製のそりに乗っており、ロープを使って速度を制御する2人の男性、「カレイロス」(通常、白い服に麦藁帽子という服装) が引く乗り物です。モンテ (Monte) リヴラメント (Livramento) までの2kmの距離を約10分で走り、後でケーブルカーでモンテに登るには理想的な乗り物です。